

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立千葉大宮高等学校 千葉市若葉区大宮町2699-1 電話043-264-1981
テーマ	生涯学習と通信教育について
実施形態 実施主体	全体会と校内展及び授業参観 開かれた学校づくり委員会と学校が主体となり実施
日時 会場	平成29年11月26日(日) 12:35～14:25 千葉大宮高等学校第2応接室(全体会)及び各教室(授業参観)
日程 流れ・進行	ミニ集会 12:35～13:25 生徒、卒業生を交えての意見交換会 全体進行は教頭、協議会は開かれた学校づくり委員長が司会 校内展及び授業参観 13:35～14:25
参加者	教職員 5名 生徒 1名 卒業生 1名 開かれた学校づくり委員 5名 地域住民等 5名 合計 17名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席を直接依頼 ・ 広報資料(公民館へ配布依頼) ・ 学校のHP
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉大宮高校通信制の概要説明 ・ 協議「生涯学習と通信教育について」 ・ 在校生と卒業生による体験発表と質疑応答
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の方々が、教室の最前列で授業に参加することで、若い方々の学習への取り組みがよくなっている。 ・ 千葉大生が学習サポーターとして補助してくれることで、生徒の学習が効果的に行えるようになっている。 ・ 通信制の公立高校を県内に増やしてほしい。 ・ 素行の悪い生徒がいなくなり、おとなしくなったが、自分から積極的に地域の方々に挨拶ができるよう指導してほしい。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「通信制の課程のしくみ」について更にPRする必要がある。 ・ 公民館に広報したが、なかなか参加者数には結びつかない。 ・ 高齢の方々が学校に好影響をもたらしてくれている。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信制高校で通常の生徒や聴講生として学ぶ高齢の方々の学習に対する取組は目を見張るものがある。本校の通信制教育についてもっと知ってもらい、多くの方々に関心を持ってもらうことが、本校の学びの質の向上や生涯学習の推進になるのではないかとということで今回のテーマとした。今後も広報活動を継続していく。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立流山おおたかの森高等学校 流山市大畔275-5 電話04-7154-3551
テーマ	「防犯に向けた学校と地域の連携について」
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開 ・事前に「開かれた学校づくり委員会」の開催 ・生徒による活動報告
日時 会場	平成29年10月11日(水) 14:10~15:30 千葉県立流山おおたかの森高等学校 会議室
日程 流れ・進行	13:50~14:10 授業公開 ミニ集会 14:25~14:40 生徒の活動報告 (流山市青少年主張大会発表、JRC部活動報告、オーストラリア語学研修報告、小学校土曜授業ボランティア報告) 14:40~15:30 協議 *全体進行:教頭
参加者	地域住民6名 近隣教育関係者5名 近隣小中学校保護者5名 開かれた学校づくり委員6名 本校生徒2名 本校保護者6名 本校職員6名 <div style="text-align: right;">合計36名</div>
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・地域各自治体、近隣教育機関に学校から通知 ・地域小中学校PTA及び本校PTA役員に学校から通知
内容	1 生徒による活動報告 ・流山市青少年主張大会報告 ・JRC部活動報告 ・オーストラリア語学研修報告 ・小学校土曜授業ボランティア報告 2 「防犯に向けた学校と地域の連携」について流山警察生活安全課長による説明 3 「防犯に向けた学校と地域の連携」について協議
保護者や地域の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路が狭く、小・中学校の下校と重なると危ない。高校生が見本になりたい。また、暗いところもあり危険を感じる。(生徒) ・危険個所があれば対処したい。(地域) ・スマホや音楽を聴きながらの登下校が危険。危険箇所は街灯をつければよいというものでもない。入りやすく見えにくいところが危ない。(警察) ・下校の安全について小学校のPTAでも話し合っている。地域での声かけが大切。(小学校PTA) ・中学校も見本になるようにしないといけない。 ・自治会として登下校の見守りや防犯パトロールをしている。自転車の乗車マナーは高校生だけでなく大人も悪い。(地域) ・このような会は大切。この場に高校生がいるのも良い。ここで話し合ったことを多くの人に周知することが大切。(市青少年指導センター)

	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地がある地域。安全面や生徒指導面について、指導の徹底とともに挨拶運動を行っていききたい。(中学校) ・いつも連携をしてくれて助かっている。感謝している。(小学校) ・防犯については、警察だけでは無理がある。自治会や多くの方の力があってこそ。(地域)
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校が隣接しており、連携した行事があるが、より強化していききたい。 ・地域の自治会等との連携を深め、児童生徒の安全を図るとともに、高校生が模範となるよう指導していききたい。
その他 (テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地域の小中学校のPTAの方に参加してもらった。また、本校生徒も参加し、生徒の視点での意見を述べることができた。

教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方が、学校の教育活動に興味を持たれていることを再確認した。 ・ 地域の方とコミュニケーションが取れたことが良かった。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のボランティア活動に積極的に生徒が関わりを持っている中でさらに、何ができるかを考える機会となった。 ・ 今後も地域の方に学校の取組みを周知していただくために、広報的な活動に積極的に取り組んでいきたい。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立松尾高等学校 山武市松尾町大堤546 電話0479-86-4311
テーマ	「グローバル人材の育成について」
実施形態 実施主体	○分科会も実施（小グループによる話し合い活動） ○他行事（文化祭参観）とのセット ○その他 ・事前に「開かれた学校づくり委員会」の開催 ・生徒による実践発表
日時 会場	平成29年10月6日（金） 13:00～16:00 松尾高等学校視聴覚室
日程 流れ・進行	開かれた学校づくり委員会 13:00～14:40 （途中文化祭参観） ミニ集会 14:50～16:00 生徒による実践発表、本校の育成方針説明、グループ討議 各グループからの発表 全体進行は開かれた学校づくり委員長（PTA会長） グループ討議は開かれた学校づくり委員が進行及び発表
参加者	教職員11名 その他（開かれた学校づくり委員）7名 保護者5名 地域住民15名 計38名
広報	・保護者宛て通知 ・出席を直接依頼 ・山武市わがまち活性課に協力依頼
内容	文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受けている。生徒による取組報告及び、担当職員による説明の後、参加者を6グループ（各グループ5～6名）に分け、松尾高校のグローバル人材の育成方針について話し合いを行った。最後に、グループごとに発表をする形で集会をまとめた。
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾高校を応援したい。役に立つことをやりたい。 ・海外への短期留学の手伝いをしたい。 ・話し合い活動で、コミュニケーション能力を育成してほしい。 ・生徒の発表から、福祉や英語に頑張る様子が伝わった。 ・海外での活躍は立派だが、身近な地域における地元での活躍こそ大事だと思う。将来の就職も含めて、地元との結びつきを大切にしてほしい。 ・まずは、地元の課題に目を向けていくことが大切。 ・学校と高齢者との関わりをもっと増やしてほしい。 ・英語を得意とする生徒にとっての就職先として成田空港とのパイプを築いてほしい。 ・学校の雰囲気がとてもよい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のスピーチが素晴らしい。もっといろいろな場面で発表する機会を設けたほうが良い。生徒にとっての良い機会である。 ・SGHは松尾高校志望のきっかけになっている。SGHの指定が終わった後でも生徒が伸びる仕組みづくりが必要だ。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の方と意見交換を行うことができ有意義であった。 ・教員の説明だけでなく、生徒の取組を見てもらうことでたくさん意見が出るようになった。 ・生徒も自分たちの研究内容を発表する場を経験できたのはよかった。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受けており、グローバル人材の育成が本校の課題となっている。事業を進める上で、地域との連携が不可欠となっており、貴重な意見交換の場となると考えている。 <p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山武市のわがまち活性課に地域の事業所の参加依頼の協力をお願いしたこと。 ・地域フィールドワーク（インターンシップ）でお世話になった福祉関連の施設等に出席依頼をしたこと。 ・話し合いの前に、SGH事業に取り組んでいる生徒の発表を取り入れたこと。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立千葉特別支援学校 千葉市花見川区大日町1410-2 電話043-257-3909
テーマ	「子どもたちが地域で豊かに暮らすために」 —地域とともに考える防犯活動—
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・開かれた学校づくり委員会と併せて、取組の発表 ・意見交換、講評
日時 会場	平成29年11月20日（月）10:30～11:50 千葉県立千葉特別支援学校 プレイルーム
日程 流れ・進行	授業参観 9:40～10:20 ミニ集会 10:30～ 開会・校長挨拶 10:40～ 発表 (地域の取組1・2、本校の取組、保護者の取組) 11:20～ 質疑応答・意見交換 11:40～ 講評 11:50～ 閉会 ※全体進行：教頭、主幹教諭 開かれた学校づくり委員会 12:50～14:00
参加者	教職員 9名 保護者 15名 地域住民 3名 その他（開かれた学校づくり委員・教育関係者他） 49名 合計76名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者宛て通知 ・学校のwebに掲載 ・出席を直接通知文で依頼 ・新聞社・広報雑誌等に掲載
内容	1 取組紹介 (1) 千葉市学校警察連絡委員会 北署委員会 委員長 千葉市立こてはし台中学校長 (2) 千葉市大日町内会自主防災会常任理事 会長 (3) 千葉県立千葉特別支援学校 生徒指導主事 (4) 千葉県立千葉特別支援学校 保護者代表 2 質疑応答・意見交換 3 講評 千葉県千葉北警察署 生活安全課長
保護者や地域 の方々の意見	1 地域の取組① <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・セーフティウォッチャーによる登下校時の見守り ・子供110番の家を緊急避難場所として登録 ・不審者情報を近隣小中学校と共有 ・安全マップづくり・防犯訓練・安全教室・ネットトラブル講習教室等への取組 ・地域の抱える諸問題の情報交換と、各学校の課題について警察を交えて共有することが大切 2 地域の取組② <ul style="list-style-type: none"> ・町内会による中学生の下校の見守り

	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールと同時に、危険物の回収や樹木伐採、路上の安全確保に努める ・防犯活動の一つとして、エンジンをかけたままの違法駐車車両への声掛け <p>3 保護者の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と本人の努力だけでは解決できない問題 ・通学経路上の死角や地下道という危険個所 ・地域の方の見守りと、声掛けの大切さ ・障害者が安全・安心して暮らしていけるということは、社会生活を送るすべての人が安全に安心して生活できということ <p>4 講評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害届の件数は、稲毛区・花見川区で昨年度よりも8%減少 ・夕方から夜間にかけての帰宅途中をねらった声かけ、つきまとい、痴漢等の不審者が多い ・見守りや路上整備等、地域の防犯力の向上が必須 ・「顔」の見える地域「心」のつながりが大切 ・「いかのおすし」「はちみつ自慢」「ひまわり」などの標語の活用
<p>教職員の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校が隣接しており、連携した行事があるが、より強化していきたい。 ・地域の自治会等との連携を深め、児童生徒の安全を図るとともに、高校生が模範となるよう指導していきたい。
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地域の小中学校のPTAの方に参加してもらった。また、本校生徒も参加し、生徒の視点での意見を述べる事ができた。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	県立野田特別支援学校 野田市鶴奉147-1 電話04-7122-7270
テーマ	本校における交流及び共同学習について
実施形態 実施主体	全体会、分科会 授業参観
日時 会場	平成29年11月24日（金）9：40～11：55 野田特別支援学校 体育館及び相談会議室
日程 流れ・進行	開 式 9：40～10：05 （本校概要、交流及び共同学習について） 参 観 10：05～11：05 （全体参観・野田市立東部中との作業交流参観） 意見交換 11：10～11：30 （小グループによる意見交換及び各グループの発表） 校内参観 11：30～11：40 （野田市立東部中との交流参観） 閉 式 11：45～11：55
参加者	教職員 7名 開かれた学校づくり委員 9名 保護者 6名 地域関係者等 10名
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより ・リーフレット ・保護者、地域関係者等への案内文書
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・説明（学校概要・本校の交流及び共同学習について） ・校内参観（野田市立東部中学校との交流及び共同学習・自立活動他） ・小グループによる意見交換・発表
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに考えさせるアイデアを出せるということのはとても大切で自立への大きな一歩だと感じました。（開かれた学校づくり委員） ・交流では、子ども同士自然なかかわりをしていて、これまでの成果が出ていると思いました。話し合いでは、保護者が学校を信頼していることがわかる意見がたくさん出ていました。（地域関係者） ・先生方の細かな声かけや指導の様子、子どもたちの生き生きと楽しそうな様子を拝見でき嬉しく思いました。（地域関係者） ・他学部の子どもの様子を見ることができてよかったです。（保護者）

教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々、特に民生委員に本校の子どもたちの様子を知っていただく良い機会となった。 ・ 小グループによる意見交換は、保護者、地域関係者、障害福祉関係者等、それぞれの立場から意見を出していただける機会となった。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、今 後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区における管理職、特別支援教育コーディネーター等による特別支援教育連絡協議会を実施する。 ・ 今後も地域（野田市）の特別支援教育のセンターとしての役割を果たすため、関係機関等との連携を密にする。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立香取特別支援学校 香取郡神崎町大貫383-13 電話0478-72-2911
テーマ	「就労自立とその支援セミナー」
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原公共職業安定所と共催 ・セミナー開始前に開かれた委員、本校職員（管理職、進路）、発表者、県職員による昼食を兼ねた懇談会（第2回開かれ委員会） ・本校卒業生がお世話になっている福祉サービス機関職員及び卒業生による話題提供、講演会
日時 会場	平成29年8月4日（金） 13:30～16:30 神崎町ふれあいプラザ（視聴覚室）
日程 流れ・進行	12:15～昼食会（第2回開かれた学校づくり委員会） 13:30～開会 <ul style="list-style-type: none"> ・報告（佐原公共職業安定所職員）、質疑応答 ・話題提供（卒業生、勤務先職員）、質疑応答 ・講演（近隣施設長）、質疑応答 16:30～閉会
参加者	教職員47名（本校職員、他校職員） 保護者12名 地域住民3名 開かれた学校づくり委員2名 近隣施設職員17名 近隣企業代表1名 教育庁職員2名
広報	保護者宛通知文、地域広報掲載、ちらしを地域地区に回覧
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開始前に、開かれた学校づくり委員、本校職員（管理職、進路）、発表者、県職員による昼食を兼ねた懇談会（第2回開かれ委員会） ・講演「佐原公共職業安定所管内就労状況」 ・話題提供「卒業生に学ぶ～現場実習、就労今」 ・講演会「就労自立と支援の在り方」
保護者や地域の方々の意見	「グループホームから通っている人について、特に個人経営の事業所の場合にいろいろなケースがあると思いますのでアフターケアとして定期的な状況把握ができるとうい（福祉関係者から学校へ）「今後も協力していきたい（地域企業）」「何かあったら協力したいと思う（地域住民）」
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループで参加者同士が話し合う時間があれば、もっと気づきや学びが共有できると思う。 ・ミニ集会ということで様々な分野の方が参加できてよかった。 ・特に小学部や初任や新任の職員に対して目先の取り組みだけでなく長期的なスパンを持った取組が必要である、今やっていることがどうつながっていくのかを理解することができたのではないかと思う。
その他 （テーマの背景、学校の工夫、今後の取組等）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末の学校評価において進路に関する評価がやや低いものであったことからミニ集会に絡めたセミナー実施をした。 ・本校の特色として地域の方々と共にする行事等が多く、町教委とも連携が取れている。そのため意見が出やすくする形態や進行の工夫、地域の方々が少しでも多く参加できる内容の工夫が今後必要かと思われる。